

ポケット学芸員 NEWS

No.87 2023.4.21



ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」が 川崎市岡本太郎美術館に導入されました

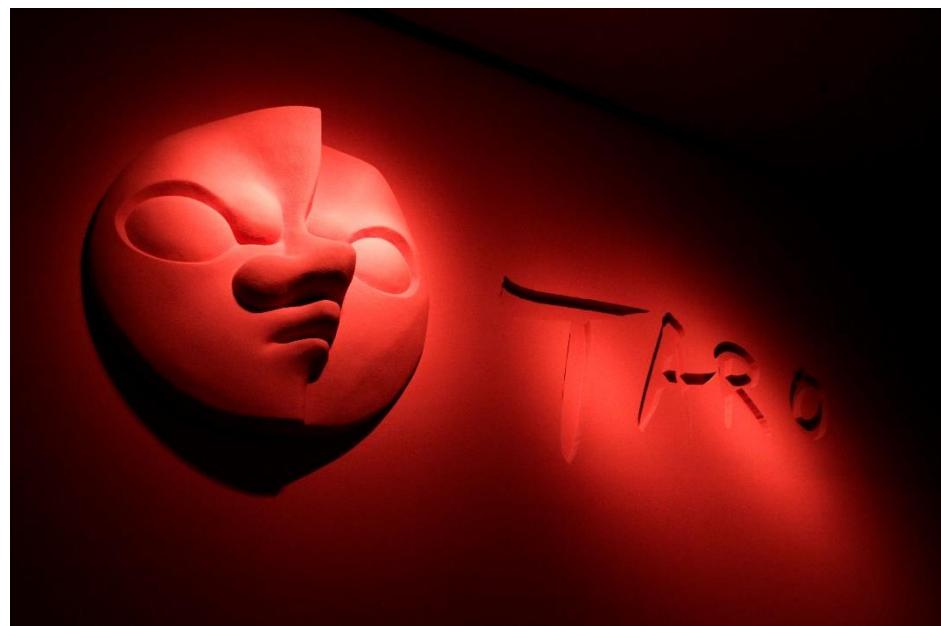
スマートフォンを利用して展示解説などを楽しめるミュージアム向け無料ガイドアプリ「ポケット学芸員」（開発元：早稲田システム開発株式会社（東京都新宿区））のサービスが、令和5年4月20日に川崎市岡本太郎美術館（神奈川県川崎市）に導入されました。

導入の背景と ポケット学芸員選定理由

川崎市岡本太郎美術館では、専用機を利用した音声ガイドのサービスを行っていましたが、新型コロナウイルス感染症対策として非接触型の音声ガイド導入を検討していました。「ポケット学芸員」の個人のスマートフォンを利用して作品解説を聞くという方法が、検討していた新しい音声ガイドの意図に合ったこと、また「ポケット学芸員」がすでに導入している弊社のサービス（I.B.MUSEUM SaaS）の1つとして利用でき、運用コストがかからないことが選定の理由となりました。また、展示会ごとに変わる配信作品の入れ替えを学芸員が容易にできることや、多くの公立・民間の美術館・博物館が導入していて実績があることなども、導入を決定した大きな要因のことです。

配信コンテンツの特徴

同館では年数回、テーマをもって約1800点の収蔵品の中から作品を選び常設展を開催しています。ポケット学芸員では、4月20日から開催の常設展「岡本太郎と太陽の鳥」での配信を皮切りに、それぞれの常設展で展示されている作品の解説を配信します。



川崎市岡本太郎美術館について

川崎市ゆかりの芸術家・岡本太郎の作品を肌で感じることができる「体験型展示空間」をコンセプトとする美術館です。四季折々の生田緑地の豊かな自然と岡本太郎の創作エネルギーを感じることができます。美術館では、年間を通じ、岡本太郎の作品を紹介する常設展、岡本太郎芸術のより深い顕彰、関連作家や時代との関係性、芸術と社会の関わりをテーマとした企画展、次世代を担う

作家の発掘を目的とする公募展「岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」などの展覧会を開催しています。絵画や彫刻作品などの鑑賞だけでなく、実際に座ることができるイスの作品もあります。

誰でも気軽に参加できるワークショップやイベントも開催しており、グッズや展覧会カタログを販売するミュージアムショップ、展示内容に合わせたメニューが特徴のカフェテリアTAROなどもあり、美術館を様々な方法で楽しんでいただけます。

導入施設

川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区沢井7-1-5 生田緑地内 TEL 044-900-9898 <https://www.taromuseum.jp/>

2023年3月31日時点でサービス提供中 および提供予定のミュージアム

北海道博物館／北海道開拓の村／札幌芸術の森美術館／札幌芸術の森野外美術館／アイヌ文化交流センター(サッポロピリカコン)／だて歴史文化ミュージアム／史跡北黄金貝塚公園／中島・湖の森博物館／洞爺湖有珠山ユネスコ世界ジオパーク／史跡入江・高砂貝塚／入江・高砂貝塚館／とうや湖ぐるっと彫刻公園／洞爺湖芸術館／八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館／八戸市博物館／史跡根城の広場／一関市博物館／岩手県立博物館／仙台市博物館／石巻市博物館／歴史と文化の美術館 わらべの里／諸橋近代美術館／いわき震災伝承みらい館／茨城県近代美術館／ミュージアムパーク茨城県自然博物館／予科練平和記念館／徳川ミュージアム／歴史と未来の交流館／群馬県立土屋文明記念文学館／飯能市立博物館 きっとす／戸田市立郷土博物館／鉄道博物館(さいたま市)／入間市博物館 ALIT／旧石川組製紙西洋館／旧黒須銀行／造幣さいたま博物館／埼玉県立近代美術館／浦安市郷土博物館／世田谷区立次大夫堀公園民家園／松岡美術館／新宿区立漱石山房記念館／パルテノン多摩ミュージアム／くにたち郷土文化館／慶應義塾大学／八王子市絹の道資料館／賀川豊彦記念松沢資料館／福生市郷土資料室／北区飛鳥山博物館／桑都日本遺産センター八王子博物館／東京家政大学博物館／紙の博物館／世田谷区立郷土資料館／世田谷区立岡本公園民家園／昭和館／船の科学館／消防博物館／田端文士記念館／郷さくら美術館／青梅市郷土博物館／横須賀美術館／神奈川県立歴史博物館／ニュースパーク(日本新聞博物館)／大和市つる舞の里歴史資料館／あつぎ郷土博物館／横須賀市自然・人文博物館／小林古径記念美術館／富山県[立山博物館]／富山県水墨美術館／高志の国文学館／小松市立宮本三郎美術館／小松市立博物館／福井市立郷土歴史博物館／名勝養浩館庭園／福井県立歴史博物館／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館／敦賀市立博物館／山梨県立美術館／長野市立博物館／高橋まゆみ人形館／松本市時計博物館／日本童画美術館 イルフ童画館／松本市立博物館／大垣市守屋多々志美術館／岐阜県博物館／大垣市日本昭和音楽村江口夜詩記念館／中津川市鉱物博物館／大垣市墨俣さくら館／スイトピアセンター 学習館／大垣市立図書館／輪中館・輪中生活館／大垣市奥の細道むすびの地記念館／大垣市歴史民俗資料館／スイトピアセンター 文化会館／多治見市モザイクタイルミュージアム／大垣城／金生山化石館／赤坂港会館／旧清水家住宅／墨俣一夜城(墨俣歴史資料館)／静岡市歴史博物館／豊橋市二川宿本陣資料館／碧南市藤井達吉現代美術館／刈谷市歴史博物館／彦根城博物館／滋賀県立琵琶湖博物館／史跡草津宿本陣／草津市立草津宿街道交流館／向日市文化資料館／大阪市立東洋陶磁美術館／逸翁美術館／大阪国際平和センター(ピースおおさか)／造幣博物館／大阪市立科学館／兵庫県立歴史博物館／神戸ビーフ館／小林一三記念館／姫路市立美術館／但馬牛博物館／奈良文化財研究所／松江歴史館／松江ホーランエンヤ伝承館／島根県立美術館／みよし風土記の丘ミュージアム(広島県立歴史民俗資料館)／ふくやま文学館／造幣局広島支局造幣展示室／広島県立歴史博物館／広島県立歴史博物館／湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次ものけミュージアム)／UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)／中原中也記念館／萩博物館／高松市公文書館／香川県立ミュージアム／瀬戸内海歴史民俗資料館／高松市美術館／菊池寛記念館／高松市埋蔵文化財センター／高松市平和記念館／高松市讃岐国分寺跡資料館／特別史跡讃岐国分寺跡史跡公園／上島町岩城郷土館／愛媛県総合科学博物館／高知市立自由民権記念館／高知県立坂本龍馬記念館／高知県立歴史民俗資料館／高知県立美術館／横山隆一記念まんが館／嘉麻市立織田廣喜美術館／福岡アジア美術館／筑前町立大刀洗平和記念館／北九州市立文学館／北九州市立いのちのたび博物館／佐賀県立博物館・美術館／佐賀県多久市／佐賀県立九州陶磁文化館／長崎歴史文化博物館／熊本県立美術館／熊本県立装飾古墳館／熊本博物館／臼杵市歴史資料館／種子島開発総合センター「鉄砲館」／かごしま環境未来館／鹿児島県歴史・美術センター黎明館／鹿児島県立博物館／天城町歴史文化産業科学資料センター「ユイの館」／

ポケット学芸員の概要

「ポケット学芸員」は、スマートフォンを利用して展示解説を閲覧・視聴できるガイドアプリです。ひとつのアプリを複数のミュージアムで共用的に使える点が特徴で、スマートフォンにインストールしておけば、全国のサービス実施館で展示ガイドを利用することができます。ガイド内容は、それぞれの博物館・美術館が独自に工夫して制作する仕組みを採用。館によってテキスト画面だけでなく写真や動画、音声など多様なスタイルで情報が配信されています。

アプリの詳しい情報はこちらから

「ポケット学芸員」ホームページ
<http://welcome.maps.ne.jp/pocket>



アプリのダウンロードはこちらから

ポケット学芸員は、GooglePlay/App Storeにて、無料でダウンロードいただけます。「ポケット学芸員」と検索してください。
 (推奨OS : Androidは5.0以上、iOSは10.0以上)

Android
<https://play.google.com/store/apps/details?id=co.waseda.pocket.curator>



iOS
<https://itunes.apple.com/jp/app/pocket-curato.../id1088763931?mt=8>



「ポケット学芸員」導入ご検討施設の皆様

ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」は、クラウド型収蔵品管理システム「I.B.MUSEUM SaaS」の機能の一部です。導入には「I.B.MUSEUM SaaS」のご契約が必要となります。

【お問い合わせ窓口】
 早稲田システム開発株式会社
 TEL : 03-6457-8585
 Email:sales@waseda.co.jp

【Webお問い合わせフォーム】
<http://www.waseda.co.jp/contact>